

見学会参加者募集!!



開通間近

東京ゲートブリッジ

工事中

新木場立体

東京湾岸地域で行っている事業のうち、開通間近の東京ゲートブリッジと工事中の新木場立体の2箇所について、見学会ツアーを行います。工事が完成した施設と工事中の施設を見学することにより、施設が出来る過程を体験していただく貴重な機会になると思います。

とき

平成24年1月28日(土)・29日(日)

雨天決行 ※荒天により危険と判断される場合は中止

<見学会行程>※1/28(土)及び29(日)

- ①9:30東京港湾事務所集合→東京ゲートブリッジ
→新木場立体→10:45新木場駅付近解散
- ②11:15東京港湾事務所集合→東京ゲートブリッジ
→新木場立体→12:30新木場駅付近解散
- ③13:15東京港湾事務所集合→東京ゲートブリッジ
→新木場立体→14:30新木場駅付近解散
- ④15:00東京港湾事務所集合→東京ゲートブリッジ
→新木場立体→16:15新木場駅付近解散



<図 集合場所(東京港湾事務所)>

●参加条件・お申込み方法などは、別紙をご覧ください。

<主催者>

国土交通省関東地方整備局 東京港湾事務所・首都国道事務所

<問い合わせ先>

国土交通省関東地方整備局 東京港湾事務所企画調整課

TEL ; 03-5534-1366

□見学会実施日時

第1日目；平成24年1月28日（土）

①9:30 集合 ②11:15 集合 ③13:15 集合 ④15:00 集合

第2日目；平成24年1月29日（日）

①9:30 集合 ②11:15 集合 ③13:15 集合 ④15:00 集合

※集合場所；東京港湾事務所（東京都江東区新木場 1-6-25 ※新木場駅より徒歩3分）

解散場所；新木場駅付近

※所要時間は各回ともに約75分

（うち徒歩による見学時間約30分、マイクロバスによる移動時間約45分）

□ 対象者

小学生以上。なお、中学生以下の参加について、保護者の方の同伴が必要となります。

□ 参加費

無料。

□ 定員

各回ともに20名

□ お申込み方法

「往復はがき」又は「Eメール」にて、以下の①～⑦（参加者全員分）を明記のうえ、下記申込み先までお送り下さい。

- ①住所 ②氏名（ふりがな） ③年齢 ④性別 ⑤連絡先 ⑥緊急時連絡先（当日）
⑦希望日時・時間帯（第1希望・第2希望・第3希望まで）

※平成24年1月15日（日）消印有効

※参加可否の連絡は、発送をもって代えさせていただきます。

※ご提供頂いた個人情報は、当見学会に関する連絡を目的としており、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に則り、厳正な管理により取り扱います。

<申込み先>

国土交通省 東京港湾事務所 企画調整課 宛

住 所；〒136-0082 東京都江東区新木場 1-6-25

電 話 番 号；03-5534-1366

Eメール；info-t83ab@pa.ktr.mlit.go.jp

□ 注意事項

- ・見学場所は地上60mの高さで屋外となりますので、防寒対策をしっかりとってください。
- ・見学時に坂道及び工事現場内を歩くこととなりますので、徒歩で見学できる方に限らせていただきます。
- ・ご応募頂ける人数は、最大5名様までとさせていただきます。
- ・参加希望者が多数の場合、抽選となりますので予めご了承ください。
- ・ペットを同伴しての参加は出来ません。
- ・雨天の場合も原則開催しますが、荒天などにより危険と判断される場合は、中止します。
- ・見学会当日は、駐車場・駐輪場を用意しておりません。公共の交通機関をご利用ください。
- ・見学会当日に、マスクミによる取材等が行われる可能性がありますので、予めご了承ください。
- ・マイクロバスを利用した見学会のため、出発時間になり次第出発します。

東京ゲートブリッジの概要

○橋梁の概要

- ・橋名：東京ゲートブリッジ（※）
- ・所在地：中央防波堤外側埋立地～江東区若洲
- ・構造形式：（主橋梁部）連続トラス・ボックス複合構造
（アプローチ橋梁）連続鋼床版箱桁
- ・橋長：2,618m（うち主橋梁部 760m）
- ・橋梁高さ：A.P.+87.8m
- ・航路限界高：A.P.+54.6m
- ・橋梁重量：約36,000トン（うち主橋梁部 約20,000トン）
- ・幅員構成：往復4車線及び歩道（都心側のみ）
- ・通行料金：無料

※橋名「東京ゲートブリッジ」は、平成22年11月に一般公募の結果により決定している。（応募件数：12,223件）



写真：東京ゲートブリッジ（若洲側より）



図：歩道部完成イメージ

○歩道部の通行について

歩行者は、若洲側昇降施設より橋上の歩道部へ昇ることが出来ます。

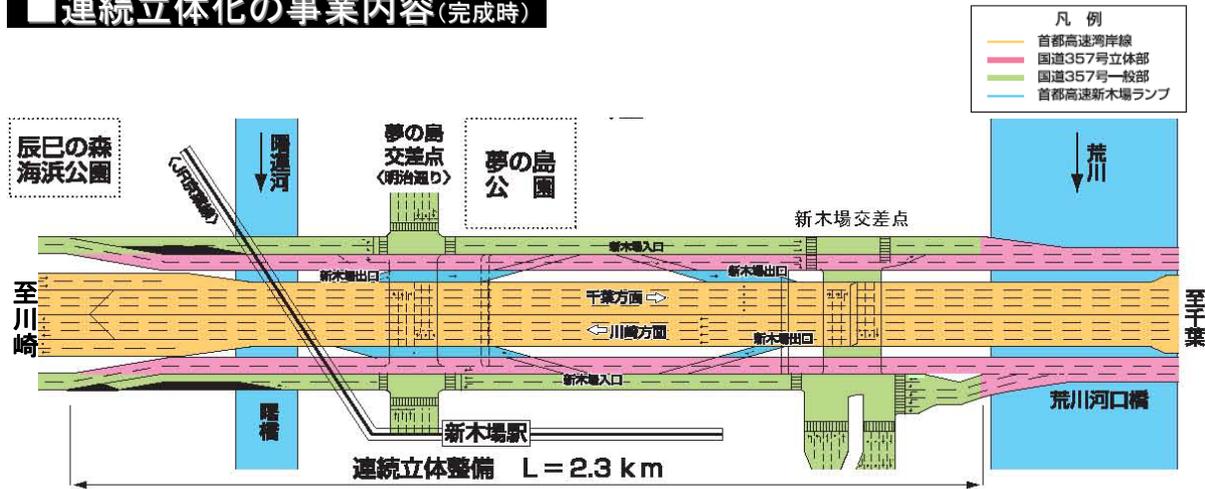
新木場地区周辺渋滞対策について

■ 概 要

東京湾岸地域では、国道357号東京湾岸道路及び周辺道路の整備が順次進められています。なかでも新木場地区は、東京港臨海道路Ⅰ期が平成14年に開通し、引き続き、Ⅱ期の整備が進められています。

新木場交差点においては、東京港臨海道路Ⅱ期に接続する新木場・若洲線の交通量増加が見込まれ、隣接の夢の島交差点（主要渋滞ポイント）とともに渋滞対策が急務となっています。これらの渋滞対策として、新木場地区では、交差点改良及び連続立体化の事業が進められています。

■ 連続立体化の事業内容 (完成時)



■ 連続立体化(新木場立体) 工事実施状況

● 川崎側を望む
(橋梁下部工 完了 ※一部施工中)

● 千葉側を望む
(橋梁下部工 完了)



新木場ランプ付近



新木場ランプ付近

平成23年10月撮影